

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第49号

- 2013年9月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 鈴木勝雄
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 (株)アサヒプリンティング
044-344-3531

平成25年度青少年の健全育成を進める県民大会



オープニング

平成25年7月13日(土)平塚市中央公民館において、青少年の健全育成を進める県民大会を「青少年と情報化社会」をテーマに、多数の参加者を得て開催しました。

大会は、平塚江南高校の生徒の司会で進められ、平塚学園のチアリーディングのオープニングで始まりました。「今日のために厳しい練習を積んできました」というとおりの元気いっぱいの素晴らしいステージで大変好評でした。

オープニングに続き、ネット教育アナリストの尾花紀子氏を講師に迎え、子どもが直面しているインターネットのリスクとメリットをテーマに基調講演が行われ、話のポイントは、

- インターネットのメリットについて、電話やメールが使えない大災害時でもインターネット回線はつながるので、命を助けるために積極的に活用して欲しい
- リスクを避けるには、自分の安全を守る危機管理と、他人を傷つける誹謗・中傷をしない規範意識がポイントである
- 危機管理の例として、GPSをOFFに設定しないで撮影した写真から位置情報が公になりトラブルになる可能性が多々ある
- 最後に、大人の役割について、判断力がある大人が社会の常識を子どもたちに教え、インターネットユーザーとしての規範意識を涵養することが大切で、技術的な事は子どもたちに聞く位の余裕を持って欲しい

これらのことを講師は強調され、講演は終了しました。

講演の後、NPO情報セキュリティフォーラムの植田氏をコーディネーターに、尾花氏と平塚工科大学の反町校長、大磯高校と平塚中等教育学校の生徒をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われました。



知事あいさつ

高校生は、スマートフォンが学校生活に欠かせない道具になった一方で、ネットに依存して現実の世界のつながりが薄れてしまいがちな状況を紹介してくれました。

反町校長先生は、インターネットは日常生活に欠かせないものという発想で取組むべきで、大人の役目はモラルをきちんと教えることではないかと話されました。

尾花氏は会場の高校生の質問に答えて、インターネットやパソコンは常に実験中の未知なものであることを念頭に置いて、利用にあたっては用心深くチャレンジすべきで、例えば、何かダウンロードした時などに出てくる確認画面の注意事項を少なくとも数行位は読むことを心がけるよう話されました。

植田氏は、コミュニケーションをとったり、困っていたり悩んでいる子どもたちに声を掛けて、現実の世界との接点を見つけてあげるのが大人の役割ではないかとまとめられ、パネルディスカッションは終了しました。

最後に、神奈川県青少年社会環境健全化推進会議の鈴木会長が閉会の言葉を述べられ、大会は終了しました。



パネルディスカッション

社会環境健全化推進街頭キャンペーンを開催しました

7月には「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。この期間中は、青少年を取り巻く社会環境の健全化を一層推進するため、県内各地域で様々な取組が実施されています。

青少年指導員の皆様には、県内各地で実施された「社会環境健全化推進街頭キャンペーン」にご協力いただきました。

このキャンペーンでは、横浜F・マリノスの中村俊輔選手の写真を使用した啓発チラシや、インターネット利用についての啓発ティッシュ等を県民の皆さんに配布し、青少年を取り巻く社会環境の健全化を訴えています。

さらに今年度は、県内のJリーグクラブ（川崎フロンターレ、横浜F・マリノス、湘南ベルマーレ）のご協力により選手の皆さんの写真を掲載したクリアファ

イルを、神奈川県遊技場協同組合及び神奈川県福祉事業協会からご寄付いただいています。

このクリアファイルは、青少年のインターネットの適切な利用に向けて、ご家庭で話し合っただけでルールをつくるよう呼びかけるメッセージで、各クラブのホームゲームを中心にキャンペーンで配布しています。

7月6日には川崎フロンターレのホームゲームで、7月31日には横浜F・マリノスのホームゲームで、それぞれキャンペーンを実施しました。

両日とも暑さの大変厳しい中、青少年指導員や「かながわ社会環境健全化推進会議」の関係団体の皆さんにご参加いただき、クリアファイルを始めた啓発物品を配布し、青少年を取り巻く社会環境の健全化を訴えました。



横浜会場の様子



川崎会場の様子

青少年喫煙飲酒防止に向けた協働の取組

神奈川県では、青少年の喫煙や飲酒を防止する社会環境を整備していくことを目的に、神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例を制定し、関係業界団体と協働で青少年の喫煙飲酒防止に向けた取組を行っています。

具体的には、未成年者にお酒やたばこを販売しないことを徹底するため、ポスターを作成し、スーパーやコンビニエンスストア、たばこ・酒類販売店、飲食店などの店頭に掲示しています。

また、街頭キャンペーンを協働で実施しています。ここでは、神奈川県たばこ商業協同組合連合会のキャンペーン活動を紹介します。

神奈川県たばこ商業協同組合連合会では、毎年7月を「未成年者喫煙防止強化月間」と定め、未成年者喫煙防止活動の強化を図っています。

今年は、7月12日（金）に、JR横浜駅西口で「未成年者喫煙防止啓発イベント」を実施しました。日本フランチャイズチェーン協会、たばこ協会、JT横浜支店や横浜財務事務所、神奈川県など関係団体や関係機関の約70名が参加し、啓発用ポケットティッシュ 4,000個を配布するとともに、未成年者喫煙防止についての呼びかけを行いました。



子ども・若者の悩み相談「かながわ子ども・若者総合相談センター」

「どこに相談したらいいのかわからない」「家の外に出るのがつらい」「しばらく学校に行っていない」などと一人で悩む子どもや若者、「夜遊びが続いている」「お金を持ち出す」などと心配するご家族の皆様。

まずは「かながわ子ども・若者総合相談センター」にお電話ください。相談の内容について相談員と一緒に考えましょう。また、相談内容によっては、より適切な相談機関をご案内します。



相談専門電話 045-242-8201

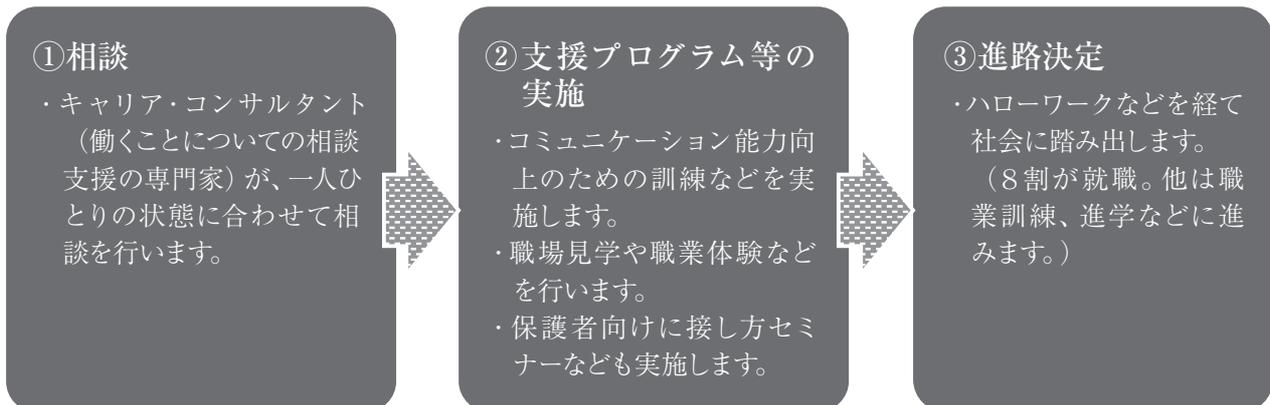
受付時間：火曜日～日曜日 9時～12時、13時～16時
《月曜日・年末年始は休み》

ニートの若者の就労などを支援する地域若者サポートステーションのご案内

◆ 地域若者サポートステーション（通称「サポステ」）とは

働くことに悩みを抱えている15歳～39歳までの若者に対し、キャリア・コンサルタントなどによる専門的な相談、コミュニケーション訓練などによるステップアップ、協力企業への就労体験などにより、就労に向けた支援を行っています。

◆ 支援のながれ



◆ 神奈川県内の地域若者サポートステーション ※面談相談には予約が必要です。

よこはま若者サポートステーション		
【所在地】横浜市西区北幸 1-11-15 横浜STビル3階	【電話】045-290-7234	
【交通】各線「横浜駅」西口から徒歩約8分	【URL】 http://www.youthport.jp/saposute/	
湘南・横浜若者サポートステーション		
【所在地】鎌倉市小袋谷 1-6-1 2階	【電話】0467-42-0203	
【交通】JR「大船駅」東口から徒歩約5分	【URL】 http://k2-inter.com/shonan/	
かわさき若者サポートステーション		
【所在地】川崎市高津区溝口 1-6-10 てくのかわさき3階	【電話】044-850-2517	
【交通】JR「武蔵溝ノ口駅」、東急線「溝の口駅」から徒歩5分	【URL】 http://www.sodateage.net/yss/kawasaki/	
さがみはら若者サポートステーション		
【所在地】相模原市緑区橋本 6-2-1 シティ・プラザはしもと6階	【電話】042-703-3861	
【交通】JR・京王線「橋本駅」北口から徒歩約1分	【URL】 http://parasute.jp/	
県西部地域若者サポートステーション		
【所在地】小田原市城山 1-6-32 Sビル2階	【電話】0465-32-4115	
【交通】JR・小田急線「小田原駅」西口から徒歩約3分	【URL】 http://kanagawa-nishi-supposta.com/	

◎「かながわ子ども・若者総合相談センター」及び神奈川県内の地域若者サポートステーションは、神奈川県子ども・若者支援連携会議の構成員として、関連機関と連携して相談・支援を行っています。

つくって、あるいて、新発見！ ～地域を知る・楽しむ 歩くプログラムの作り方～

神奈川県青少年指導者養成協議会では、地域や学校で青少年活動の支援や指導を行っている方々に、歩きながら楽しく地域を理解する方法として「歩くプログラム」の作り方の手引きを作成しました。

「地域を歩いてみて、新しい発見があった!」「住んでいる地域に興味がわいてきた。」等、ゆっくり、楽しく歩くことが地域理解やグループの協力の大切さを気づかせる方法として有効だと考えます。

本冊子をご活用いただき、青少年活動を支援・指導する方々の一助になれば幸いです。

目次

第1章 3つの「歩くプログラム」の基本的なルールと展開について

- I ウォークラリー
- II フォトラリー
- III 写真オリエンテーリング

第2章 「歩くプログラム」作りのポイントと作成したプログラム実例

- I 「歩くプログラム」を作成し実施する際に共通する事柄
- II 「歩くプログラム」で使用する地図の作成方法について
- III 地域を活かした「歩くプログラム」実例

- ① ウォークラリー
 - ・愛川町食材GETラリー☆
- ② フォトラリー
 - ・コミュニケーションフォトラリー
桜木町～神奈川編
- ③ 写真オリエンテーリング
 - ・野毛山 ビンゴ
 - ・横浜ランドマークタワー編
 - ・いろんなところで探しモノ
MM21 33ポイント
- ④ その他 歩くプログラムのバリエーション
 - ・金沢八景 ハッケンまちあるき

第3章 「歩くプログラム」を実施する際の安全管理について

第4章 地域の子ども・若者が参画する「歩くプログラム」作りの視点



表紙 カラー 本文 モノクロ A4版 78P
対象 小学校高学年～

ページの1例 (写真オリエンテーリングの実例)

課題3 課題2 課題1 課題4

ふりー FREE

○解答は、別紙の解答シートに書き込んでください。
写真と対応する位置に、解答する番号を書き入れましょう。
課題のマスは、そのマスの対応する位置に課題の答えの番号を書き入れましょう。
○駅前や商店等の実況により、写真とは少しお角度が違ふ場合もありますが、それを考慮しながら解答してください。
○補点について
正解すると、1マス毎に10点、1列全て正解だとボーナスポイントとして、20点。

ページの1例 (ウォークラリーの実例)

愛川町食材GETラリー☆

CP1 ☆米カード

稲作で保護している生き物は?
愛川町では、ある生き物を守るために、無農薬でお米を作っている所があります。その生き物とは??
ヒント☆田んぼでたくさん働いているよ、ヤゴコロ。

CP2 ☆野菜カード

旬の野菜クイズ!
みんなで相談をして
今の時期に旬の野菜を3つ答えるべし!

※冊子をご希望の方は、下記までご連絡ください。
神奈川県立青少年センター 指導者育成課
【電話】045-263-4466 (直通)
【URL】<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f100221/p645001.html>



活動報告

～ 編集委員の活動から ～

青少年指導員の活動の状況やノウハウ等を共有し、皆さんの連携を強めるため、今回は、編集委員のうちお二人の活動を報告します。

平成25年度第1回委員総会に出席して

川崎市青少年指導員連絡協議会副会長（第23期つばさ編集委員）

鈴木 浩子

平成25年5月24日に県青少年指導員連絡協議会第1回委員総会が開催され、24年度事業報告・決算報告と25年度の事業計画が審議されました。出された議事は承認され平成25年度の活動へと、それぞれの地域が動き出しました。

今回の委員総会では情報交換・意見交換として出席した各地域の方々から、活動の様子や活動の工夫、苦労や自慢できることなどを聞くことができました。

川崎市では7区559名の指導員が活動しています。パトロールを中心にイベントなど青少年の健全育成を目的とした活動を、他団体との連携も図りながら行っています。例えば子ども会の「羽根つき大会」などの長年続いている行事の協力をしたりしています。

県内の他の地域では青少年指導員を対象としたミニ運動会を行っているというところがあり、指導員の親睦や研修も兼ねることができる良い方法だと感じました。

定員数もそれぞれ違いますが、定員の約9割が女性という地域もあり男女の比率の違いに驚きました。

子どもの人数が少なく、どのように各種団体の活動と関連付けながら、青少年の健全育成を図っていくかが課題という地域もありました。

このように委員総会に参加し情報交換を行ってみると、目的は同じでも活動の多様さを感じます。これからも、いろいろな場面で情報交換や意見交換ができると、指導員活動の活力や活性化にもなると感じました。



ブロック研修に参加して

相模原市青少年指導員連絡協議会副会長（第23期つばさ編集委員）

加藤 弘子

相模原市青少年指導員連絡協議会は27地区を6ブロック（A～F）に分け、それぞれに特色のあるブロック研修を行なっています。

6月末、Dブロック研修会に参加しました。相模原市前子ども育成部長の川上氏をお迎えし『青少年活動への大人の関わり方』についてご講演いただきました。

子どもと話をする時に視線を合わせる・自分の立ち位置を理解する事の大切さ等々子どもへの接し方のポイントを具体的にご自身の体験された事を交えながらお話していただきました。

そして、「子どもが育つ魔法のことば」（ドロシー・ロ・ノルト作）の本の中からいくつか紹介して下さいました。

- *励ましてあげれば ⇨ 子どもは自信を持つようになる
- *褒めてあげれば ⇨ 子どもは明るい子に育つ
- *認めてあげれば ⇨ 子どもは自分が好きになる
- *見つめてあげれば ⇨ 子どもはがんばり屋になる
- *子どもに公平であれば ⇨ 子どもは正義感のある子に育つ

など、「子は親の鏡」だそうです。私たちは地域の子どものための親ではありませんが、子どもたちに安心感を与える接し方が大事なことを再認識できた研修会となりました。

これからの活動の中で、今回学んだ事を生かしながら、子どもたちと「元気に・明るく・楽しく」をモットーに笑顔で活動して行きたいと思います。



ブロック研修の様子

横浜

素晴らしい音楽で 学校間の交流・地域間の交流

横浜市旭区青少年指導員連絡協議会 会長 大野 功

旭区青少年指導員連絡協議会では、年間を通じて「こども写生大会」「竹細工教室」「親子野外自然体験活動」「大なわとび大会」など様々な活動を行っています。

その中の1つに、平成23年度より、旭区の児童・生徒の音楽発表の場、学校間の交流の場を創出し、子どもたちに同世代の音楽活動を「見て・聞いて・感じて」もらうことで、健やかな成長を目指すとともに、地域の人たちに子どもたちの音楽活動を鑑賞する場を提供することを目的として「学校音楽祭」が新事業として始まりました。

平成24年度は小学校・中学校・高校から13校が参加し、児童・生徒のみなさんが日頃練習してきた合唱や演奏で、当日は1,000人収容のホールが一杯になり、観覧者のみなさんに音楽の素晴らしさや楽しさ、そして、感動を与えてくれました。また、それぞれの団体が音楽に対する取り組む姿勢や自分の生き方にどれだ

け音楽が関わっているか。また、練習で困難だったことや、くじけそうになったことなどの発表もあり、そんな中から、この素晴らしい合唱や演奏が生まれているのだと感動しました。

開催が始まって、まだ2年目という新しい行事ですが、参加校が増え、各学校による素晴らしい発表の場と地域間の交流の場となっていくよう活動していきたいと思っています。



【旭区学校音楽祭】

活動ガンバ

県史

「わくわくホリデープラン」

愛川町青少年指導員連絡協議会 副会長 今村和仁

「わくわくホリデープラン」とはジュニア・リーダーが中心となり、青少年指導員と一緒に休日を楽しみ遊ぶための企画です。

お隣の清川村宮ヶ瀬親水池で、カヌーの先生と一緒に、小学4・5・6年生の親子(約30組)で「チャレンジ・親子カヌー体験」を行っています。カヤック、カナディアン・カヌーを体験し、親子で休日を楽しんでいただきます。

ジュニア・リーダーはカヌー、救命胴衣の準備、受付、開会式、班のメンバー確認など自ら進んで行っています。

最初に陸上でパドル、オールの操作方法を練習します。救命胴衣の装着を確認してから、カヌーに乗り込みゆっくりと岸を離れます。最初、恐る恐る漕いでいる子どもたちもしばらくするとアメンボのように水上を滑っていきます。

午前中は水上でのカヌーの操作、沈(沈没のこと)体験などを楽しみ、午後には班対抗リレーを行います。毎年ジュニア・リーダーが面白いルールを考えています。各班で順番など作戦会議を行い、いざ勝負です。毎回珍レースとなり、爆笑の渦に包まれます。

最初の頃は青少年指導員が目立っていましたが、今ではジュニア・リーダーが自ら行動するようになり我々は裏方に徹しています。

これからもジュニア・リーダーのP(企画)D(実行)C(振り返り)A(次の活動へ)をバックアップしていきます。



【チャレンジ・親子カヌー体験】

県西

彦一凧に観る温故知新

湯河原町青少年指導員会 会長 丹下孝友

凧あげは世界中、古から人は行ってきました。人間が空に飛び出したいと願うのは自然のことだと思います。その願いは、航空機の発展に急速に進み、現代では宇宙へと広がりつつあります。原点は凧あげにもあると思います。

湯河原の子どもたちも昔から凧あげに興じています。

湯河原町青少年指導員会は、様々な凧の中から、20年以上彦一凧の製作を子どもたちに指導し、毎年正月には彦一凧のたこあげ大会を開催してきました。彦一凧には年長者が年下の子に伝えられてきた知識や技術が多く含まれています。竹を割ったり削ったりしてひごに細工をしておく知識（安全面から指導員の手で）、糸の長さの計り方や結び方、紙の切り方やはさみの使い方、材料や道具の渡し方や仕種、大和糊の良さ、凧のあげ方等等です。

彦一凧の製作には難しさを伴いますが経験を重ねね

ばより上手になってきます。また、先人の知恵に驚き、新しい発見があります。凧のあげ方でも風の力や向きを考え、凧の弓の張り方や尾翼の調整やたこ糸の結び位置を工夫できます。難しいから、上手くいった時の喜びは大きいものです。彦一凧には、日本の伝統的な知恵が多くあります。さらに工夫すれば現在の生活の中にも生かされます。民話では彦一とは庶民の知恵者とか……。

湯河原町青少年指導員会では先人の知恵を子どもたちに伝え、未来を担う子どもたちに託していけるように、さらに努力し、頑張っていきたいと思います。



【平成25年 新春たこあげ大会】

っています!

～地域活動報告～

湘南

「影絵」でつなぐ秦野の民話

秦野市青少年指導員連絡協議会 会長 三浦康洋

現在、私たち秦野市青少年指導員連絡協議会は、文化的事業として「影絵」を展開しています。秦野市の民話研究家岩田達治先生の『丹沢山麓秦野民話』を基に、子どもたちにふるさと秦野をもっと知ってもらおうという思いから、三十年以上前に私たちの先輩指導員がスタートさせました。「影絵」は暗幕、舞台、スクリーン、ライトと大がかりな機材を必要とします。また、照明調整や人形操作を担当する人員の継続的な確保の難しさから、長らく活動が休止していました。しかし、デジタル万能の時代に育つ子どもたちに、昔ながらの灯りが持つぬくもり、優しさを伝えたいという熱意から復活させました。

暗い中で行う「影絵」は、その場での台本読みが出来ません。またナレーションも、暗転時間や人形操作に合わせて細かい調整が必要となるため、音源は、声優を指導員が担当し、デジタル録音に切換えました。

また、この二十年で子どもたちの生活環境は大きく変わりました。他地域から引っ越してきた子どもも沢山います。そんな子どもたちに分かりやすいようにと、脚本やBGMを大幅に改変しました。

現在では、市の交流キャンプ、公民館、幼稚園や小学校に呼ばれて公演しています。影絵独特の淡く温かい色調の世界に、みんな引き込まれるようにして見てくれています。

現在、男女メンバー総勢十七名。これからもさらに練習を重ね、子どもたちの心に残る素晴らしい「影絵」を続けていきたいと思っています。



【影絵公演の様子】



かもめ通信

(平成25年10月～平成26年3月の予定)

◆横浜市

- 第4回神奈川区小学校音楽フェスティバル
12月21日(土) 10時30分～15時30分
神奈川公会堂
神奈川区内の小学校13校が参加予定
- 第7回西区ハマのウォーキングフェスティバル ～西区まるごと右往左往～
12月8日(日) ※雨天中止
やまなみコース(約9km) 9時30分スタート
リバーサイドコース(約4.5km) 10時スタート
【スタート】戸部公園【ゴール】臨港パーク
- 平成25年度(第33回)ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)
11月23日(土) 13時開演
南公会堂
小学3年～20歳までを対象に募集した作文の表彰・代表者朗読発表等
- チャレンジ・ザ・ゲーム
11月2日(土) 10時～15時
港南ふれあい公園
子ども向けの簡単なゲームを10種程度用意
- 港南ひまわりウォーク
26年3月16日(日) 9時～13時
港南ふれあい公園ほか
- つづきウォーク&フェスタ
11月23日(土) 9時～15時
※雨天中止

都筑区内の公園や緑道を歩いて、青少年を含む区民の世代間交流と“都筑”を再発見するウォークラリーと、ゴール地点である駅前広場にて、10時から都筑区内と近隣区の中高校生による吹奏楽演奏、バトン・ダンスのパフォーマンス(フェスタ)を実施

○SAKAEヤングフェスティバル2014
26年3月23日(日) 9時45分～15時
本郷台駅前広場・本郷台駅前公園
栄区内の中学生が、青少年指導員とともにステージや模擬店を企画・運営

◆川崎市

- 10月無灯火自転車指導活動
10月10日(木) 19時～ 雨天中止
川崎市南町交番前
川崎警察署と連携し、自転車の無灯火走行など危険な自転車の運転防止を呼びかける
- 大師地区多摩川ファミリーウォーキング
11月17日(日)
大師公園→大師橋→六郷橋→大師公園
多摩川の河川敷(川崎側・東京側)、約9キロを景色を楽しみながら歩く
- リーダーシップ研修会
26年1月26日(日)
臨港消防署
地域の中学生を対象に救命講習を実施し、救急救命に関する正しい知識を養い、傷病者発生時における青少年の率先した救急活動の実施を促進する
- 第8回こどもとふれあう紙ヒコーキ大会
26年2月23日(日)
川崎市立西御幸小学校体育館(予定)
小学生を対象に、主催者の用意した紙で指定した紙ヒコーキを折り、飛行距離を競う

- 第24回中原区青少年吹奏楽コンサート
11月3日(日・祝)
川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)
中原区内中学校・高等学校吹奏楽部による演奏、同有志による合同演奏
- 第3回多摩・麻生地区中学生バスケットボール大会～スプリングカップ～
26年3月15日(土)
多摩スポーツセンター
多摩・麻生区内の中学1年生が学校ごとに男女に分かれ試合を行う

◆横須賀市

- わんぱくフェスティバル2013
11月10日(日) 10時～14時30分
県立保健福祉大学(横須賀市平成町)
青少年育成推進員連絡協議会など6団体による実行委員会を中心とする模擬店や子どもたちのステージ発表、各種体験コーナーなど

◆藤沢市

- JUMP UP U-20 WINTER CONCERT
12月7日(土) 12時30分開演予定
湘南台文化センター
20歳以下の青少年バンドによるロック・ポップスコンサート

◆小田原市

- 青少年と育成者のつどい
12月7日(土) 9時30分～
小田原市生涯学習センターけやき
中学生が日ごろ、社会や地域に対して考えていることや将来の希望などを発表する

第46回 青少年指導員大会開催

平成25年度青少年指導員大会は、11月24日(日) 13時から逗子市文化プラザなぎさホールで開催されます。

大会のテーマは「活かそう限りなき力を！」。横須賀三浦地域県政総合センター管内の4市1町の青少年指導員の皆さんが力を合せて、大会の準備を進めています。

オープニングは三浦市の海南神社祭り囃子保存楽囃(らくそう)会の和太鼓で始まります。活動事例発表は、横須賀市と逗子市から、長年続いている行事における

青少年指導員の取り組みをご紹介します。

また、講演会は、五輪のバレーボールチーム帯同トレーナーを務めた日本ペップトーク普及協会会長の岩崎由純氏を講師に迎え、「短くて」「わかりやすく」「肯定的な」「人を勇気づける」ペップトークについて、スポーツの体験を踏まえたお話をいただく予定です。

逗子市文化プラザは、京浜急行「新逗子駅」より徒歩2分、JR横須賀線「逗子駅」より徒歩5分です。駐車場はございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

「つばさ」第23期編集委員

畠中 正夫	横浜地域
鈴木 浩子	川崎地域
加藤 弘子	相模原地域
高田 和彦	県西地域
亀井 善夫	担当理事

編集後記

つばさ編集委員 加藤 弘子

今年の夏は梅雨明けがとても早く、その後は尋常ではない暑さ、これまでに経験の無いような大雨等々の異常気象が続き各地で大きな被害をもたらしました。残暑も厳しく熱中症で搬送される人も多かったですね。皆様、体調は崩していませんか？

さて、青少年を取り巻く環境は日々変化をしています。県・市で行なわれている研修会や講演会への参加と機関誌「つばさ」等から情報をキャッチし、共有して活動して行きましょう。未来を担う子どもたちの為に……。